

ぱるつうしん

発行元: 社福) 藤沢育成会 藤沢育成会 サービスセンターぱる
〒251-0013 神奈川県藤沢市小塚592
電話: 0466-28-0909 FAX: 0466-28-0959
ホームページ: <http://www.f-ikusei.or.jp/pal/palnet/>

平成25年5月号



もくじ

- P2. ^こ子ども支援^{しえん}部署^{ぶしよ}
- P3. ヘルパー^{ぶしよ}部署
- P4~5 【特集】O計画^{とくしゆう}相談^{けいかく}Oいっぼ^{そうだん}、研修^{けんしゆう}報告^{ほうこく}
- P6. グループホーム^{ぶしよ}部署
- P7. 職員^{しよくいん}投稿^{とうこう}、お出かけ^でmini情報^{みにじょうほう}
- P8. 所長^{しよちよう}の^こ小部屋^{べや}、ありがとう



ヘルパー活動中に、利用者さんに誘われて寄った「天獄院」さんで見られる景色です。「ぱる」のすぐ近くにも、こんな素敵な景色が見られる場所が、まだたくさん隠れているんだと、教えて頂きました。(ヘルパー部署 靱山)

TOPICS !

特集

①計画相談についての紹介です。

サービスセンターぱる(障がい児相談支援室はぐ)でも、児童(18歳未満)の方を対象に「障害児相談支援」「指定特定相談支援」の事業指^し定^{てい}を受け、少しずつではありますが、「計画相談」のサービス提供を始めています。

特集

②児童発達支援事業「はぐ」は、2008年「豊かな育ち、支援します」をモットーに開所し、5年目を迎えることができました。この春、さらに「もういっぼ」地域での幅広いニーズにこたえたいとの願いにより、新たに「いっぼクラス」を開所いたしました。

★お知らせ★

今月号より広報「ぱるつうしん」が、法人のホームページに掲載されることになりました。広報に載っている写真をカラーで見ることが出来ます！是非ご覧ください。藤沢育成会HP↓



<http://www.f-ikusei.or.jp/>

【子ども支援部署】

こんにちは。

未就学のはぐ・いつぽ、小学生のカラフル・星の村、中高生のプリズム、それぞれに4月より新しい利用者さんが加わり、少しずつ慣れてくるころですね。

新1年生は、新たな学校や放課後のデイサービスにと…心も体もついていくのは大変ですよ。パワフルに遊んでいた子どもが、送迎車内でスヤスヤと眠る姿を見て、しみじみと感じるのでした。

今号では、主に小学生のカラフル・星の村の2つの取り組みについてご紹介します☆

下の写真は、星の村のお庭の‘こいのぼり’です。

1年間星の村の倉庫で眠ることになりますが、来年もまた空を気持ちよく泳いでほしいです☆



①ポニー乗馬会

はると日大が共催するポ

ニー乗馬会も4年目を迎え、今年も麻溝公園で活躍するポニーが日大にやってきました☆☆☆



今年度はカラフル・星の村利用の水曜日メンバーを対象とし年4回(5月に2回、10月に2回)開催予定です。例年同様に、他曜日利用の方はお申込みが必要となり、保護者の方同伴にてご参加いただけます。5月はすでに申込みを締め切り、22日(水)と29日(水)に開催予定です。

乗馬会では、日ごろカラフル・星の村内ですぐ子どもたちが、別の場所や人と関わるため、日大でお借りしている部屋の空間を整理し、スケジュール提示や普段使用しているグッズ等準備しながら、安心してすごせるように配慮しています。多くの子どもたちは、ポニーに乗るという魅力的な活動が動機となり、大きな混乱なくすごすことができる傾向にあります。

今回のポニー乗馬会も、子どもたち一人ひとりの大切な体験の1つとなるよう、乗馬会関係者の方々と一緒に取り組みたいと思います。

②スペシャルプログラム

昨年度は、初の試みとして

カラフル・星の村で2日間ずつ祝日開所を実施しました。

対象の方を全曜日の方にするために、送迎はご家族の方にお願ひし、4時間程度の活動をおこないました。プログラムは体を動かす内容のポニーサイズをはじめ、ポニーお買い物ゲーム、手遊びや紙芝居をするポニーおはなしかいなど、スケジュールに自由な時間とプログラムを織り交ぜながら実施しました。

終了後にアンケートのご協力をお願いしたところ、『また利用したい』という内容のお声とともに、送迎を希望される意見を多くいただきました。

今年度も、カラフル・星の村にて2日ずつ、9月、11月の休日に開所いたします。

また、開所日程により地域を区切り、利用希望者を募ることで、送迎をおこなうことになりました。

詳細の日程やスケジュールにつきましては、6月に入りましたら申込用紙を配布いたしますのでご確認ください。

◆◆ヘルパー部署◆◆

○ サービス提供責任者、増えました！

前号でも紹介しましたが、松本がヘルパー部門のスタッフに加わりました。今年3月には、羽山がめでたく介護福祉士試験に合格しました。このことにより、いままで2名だったサービス提供責任者（以下、「サ責」と表記）が、4月からは4名になりました。

ヘルパー事業所には必ず「サ責」をおく必要があります。月のサービスの時間が450時間を超えるごとに1名配置する決まりになっています。ぱるの場合、一ヶ月の提供時間数は、平均1300時間前後です（居宅介護＋行動援護＋移動支援※）。

前記の基準に照らすと、いまのところ3名いればぎりぎり配置基準を満たしますが、障がい分野では、まだ全員にケアマネージャーがいるわけではなく、「サ責」が時にはケアマネ業務も行う必要があるため、基準の人数では十分ではない現状があります。

今年度は、支援の質と量の充実を目指して、「サ責」を4名配置し、いままで手が回らなかった業務にも取り組んでいこうと思います。

※移動支援は市の事業のため、制度上はサ責の配置基準はありませんが便宜上含みました。

利用実績報告

○ 昨年度実績報告

左の表は、昨年度のサービス利用実績を前年度と比較したものです。時間数で2.5%、時間数で3.7%の割合で増加しています。一日あたりの平均は13件・42.2時間。一件あたりの平均時間数は3.2時間です。

表1、時間数

サービス種別	平成24年度	平成23年度	前年比
家事援助	218.0	169.2	128.8%
身体介護	78.0	74.3	105.0%
行動援護	6059.5	5674.8	106.8%
通院介助(身介有)	64.2	65.0	98.7%
通院介助(身介無)	10.7	2.4	444.4%
移動支援	8988.9	9055.0	99.3%
合計	15419.3	15040.7	102.5%

表2、件数

サービス種別	平成24年度	平成23年度	前年比
家事援助	200	168	119.0%
身体介護	34	27	125.9%
行動援護	1850	1689	109.5%
通院介助(身介有)	41	44	93.2%
通院介助(身介無)	7	1	700.0%
移動支援	2644	2677	98.8%
合計	4776	4606	103.7%

※表の数字は、私的契約と福祉有償運送の時間は含んでいません。



【特集】はぐ「いっぽクラス」開所しました！

児童発達支援事業“はぐ”は、2008年「豊かな育ち、支援します」をモットーに開所し、5年目を迎えることができました。これまでの多くの皆様のご協力とお支援を感謝致します。そしてこの春、さらに“もういっぽ”地域での幅広いニーズに応えたいとの願いにより、新たに「いっぽクラス」を開所致しました。対象は、未就園であり、療育支援の必要な幼児（3～6歳）とそのご家族で、週2回午前利用の療育クラスです。

クラスでは5～6名の小グループで、運動遊び、創作、屋外遊び等、様々なプログラムをとおり、排泄、着脱、清潔（手洗い）など、基本的な生活習慣。またあいさつ、要求等、人とのやりとり（コミュニケーション）、さらに簡単な集団生活のルールを主に支援しています。

4、5月のプログラムでは、新聞ちぎり遊び、マット遊び...大きなマットにジャンプしたり、マットで作った



ボールの上をマットに乗り滑ったり、ボールの中に寝転んだり“さわる”、“ゆれる”など、いろんな体験を楽しみました！

※肖像権保護のため、掲載写真は削除させて頂いております。ご了承ください。



トンネルをくぐったり...お子さんが「楽しい！」「もっとやりたい！」という気持ちを引き出せるよう、保育士が様々なアイデアを日々出し合いながら、プログラムを展開しています。

開所して1カ月を経つところですが、今後も皆さまの願い、想いの実現に向け、“もういっぽ”を考えていける場になれるよう努力を続けていきます。さらに一層のご理解とご支援をお願い致します。



当日、朝から風が強く荒れた天気でしたが、220名ほどの職員が参加しました。午後の分科会（「人権擁護」「地域移行」「ベスト支援」）では、どのテーマでも活発な意見交換が行われていました。

「社会福祉法人藤沢育成会法人全体研修」が4月6日（日）、日本大学藤沢校舎をお借りして開催されました。午前中は「虐待防止委員会」からの虐待防止マニュアルの説明、各テーマに対する各事業所報告があり、午後からはテーマ別の分科会を実施いたしました。

平成25年度
社会福祉法人 藤沢育成会
* 法人全体研修報告 *

【特集】「計画相談」って何???



～ぱるでもやっています(児童のみ)～

こんにちは。今回は、「計画相談」(「指定特定相談支援」「障害児相談支援」)についてご紹介したいと思います。すでにいろいろなところで、話題になっていると思いますが、H24年の法改正にて、H27年4月には、障がい福祉サービスを利用する方全員に「計画相談」が支給決定されることとなりました。

サービスセンターぱる(障がい児相談支援室はぐ)でも、児童(18歳未満)の方を対象に「障害児相談支援」「指定特定相談支援」事業の指定を受け、少しずつではありますが、「計画相談」のサービス提供を始めています。

ここでは、「計画相談」がどんなサービスであるのか、(またしても)Q&A方式で簡単にご紹介したいと思います。

Q. そもそも「計画相談」って、何をしてくれるサービスなのですか？



→ひとことで言えば、「ある人の希望する生活の実現、困りごとの解決・軽減のため、社会資源をコーディネートする役割」、もっと簡単に言えば、「その人を応援するためのチームを作り、適切な応援の方法をご本人やご家族と一緒に考える役割」であると思います。具体的には、サービス等利用計画、障害児通所支援計画の作成(どのサービスがなぜ必要なのか、どれだけ必要なのかを記入)、ケア会議(支援者が集まって、支援の方向性を皆で考え、本人理解を深める)、モニタリング(そのときのサービスの量や内容が適切か確認する)を行ないます。

Q. 「障害児相談支援」と「指定特定相談支援」はどう違うのですか？



→サービスの内容はほぼ同じですが、根拠法令が異なります。「障害児～」の方は「児童福祉法」、
「指定特定～」は「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下、総合支援法)」です。児童福祉法に定められるサービス(児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業、放課後等DSなど)のみを使う場合は計画相談も「障害児相談支援」という形、総合福祉法におけるサービス(行動援護、居宅介護など)を一つでも組み合わせて利用する場合は、「指定特定～」という形で「計画相談」のサービスを提供させていただきます。



Q. どうすれば利用できるのですか？全員に支給決定されるということは、うちの子もですか？

→国はH26年度末までに全員に支給決定するようにと示しています。今は市が優先順位をつけながら、順番に支給決定をしているところです。藤沢市では利用を希望する場合、障がい福祉課(場合によっては、子ども家庭課)で相談し、支給決定を受ける必要があります。



「計画相談」を実施するにあたっては、どれだけその人の想いに沿った計画をつくれるか、どれだけチームのネットワークを広げ強いものにできるか、チームの1人1人がそれぞれの役割を認識し力を発揮できるか、ということを大切にしていきたいと考えています。

「計画相談」のこと、それ以外のことでも、お気軽にご相談いただければ幸いです☆



：グループホーム部署：

グループホーム部署の紹介①

藤沢育成会 サービスセンターぱるでは10戸のグループホーム、生活者55名をバツクアップしています。

現在、グループホーム部署ではスタッフ34名(うち専属コーディネーター3名)がローテーション勤務の中、生活者に必要な支援(食事作り、通院付添、助言、介助、相談、見守り、関係機関とのやり取りなど)を実施しています。そして、それらの支援を円滑に進められるよう、毎月、ホーム会議や定例会(10ホーム各1名の世話人参加)を行い、情報交換や共有の場を設けています。

今回は、グループホーム部署として大切に取り組んでいるものをご紹介しますいただきます。

毎月第一水曜日の10時から12時の2時間で開催している定例会では、支援について各ホームが紹介する『ベスト支援』報告の場があります。

ベスト支援は当初、「こんな支援ができるといいよね!」をきっかけに支援を行い、その支援のプロセスと成功した結果について報告し、他のホームでも応用して取り組めるように……と進めてきました。しかし、予想とは違い、生活の中で支援が結果として見えてくるには時間がかかり、ホームからは『ベスト支援』が挙がりにくい、分かりにくい状況がありました。

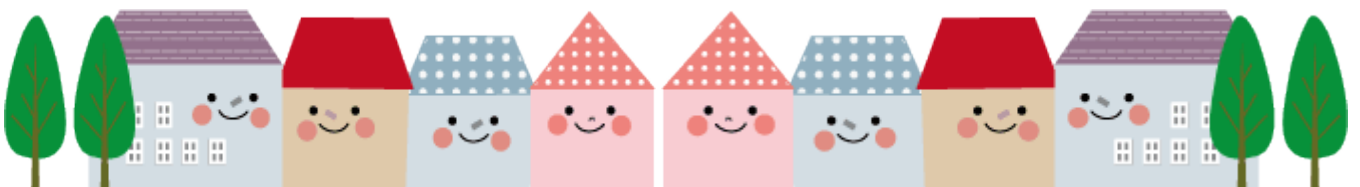
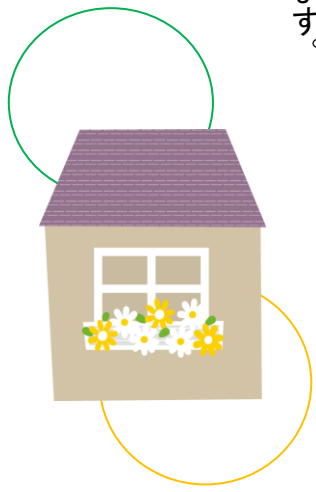
グループホームにおける『ベスト支援』が出しやすくなるには?

日々の生活の中で、世話人、支援員が利用者を通して見えているもの、見えてきたものに対し、何気なくエッセンスを加えています。その何気ない行為から生まれる効果を出し合う事で、最近では10ホームから挙がるベスト支援の一番を狙うホームも出てきています。また、定例会で評価を受ける事で、世話人、支援員個々のモチベーションも上がっているように感じています。

2013年5月定例会 ベストオブベスト

(GHベスト支援の一番評価されたもの)

体重や体調管理が必要な利用者の方々に、安定した栄養と世話人が入れ替わり入ってもバランスよく食事提供ができるよう、世話人が一か月の献立をたてた。結果、利用者さんたちの体重増は抑えられ、また体調を崩すことがない日々が2か月続いている。……でした。



職 員 投 稿

～こちらのコーナーでは、スタッフが順番に自由なテーマで語ります～



こんにちは☆グループホームを担当している高橋朋江と申します。

藤沢育成会に入職してやっと1年が過ぎ、2年目が始まりました。たった1年ですが良く続いたなと思つてます(笑)「本当にそこまで大変だったの?」と思う事もありますが、「いや大変だったでしょ?」と人ごとのように思う事があります。でも、今まででもそうでしたが行く先々でどんなに厳しい状況になったとしても必ず支えになつてくれる人がそこには現れて救われていました。本当に私は人との出会いに恵まれてる人間だと育成会に来て改めて実感しています。

「ここで是非皆様にご紹介したいのが、とある利用者さんが発した言葉です。

先日、その方が病院で血液検査と点滴をしなければならず最初は注射を怖がっていました。しかし、それを無事に終わると「何事も経験だね。チャレンジだ」とおっしゃいました。怖い思いや痛い思いをしたのに、こんな言葉が出てくるなんて・・・感銘を受けました。この仕事の良さは、「こういう所なんだなあ・・・とつくづく思いました。



おでかけmini情報 「あーすぷらざ」

(神奈川県立地球市民かながわプラザ)

25年度最初のお出かけミニ情報では、「あーすぷらざ」を紹介し

JR根岸線「本郷台」駅のホームに立つと、目の前に見える大きくて不思議な形をした建物。それが「あーすぷらざ」です。5階建ての施設の中には、五感を使って楽しむ子どもファンタジー展示室から、世界



む事ができます。2階にはカフェやレストランも。屋内施設なので雨でも大丈夫!ここからの梅雨の時期、「あーすぷらざ」で学んで遊んで楽しんでみませんか?

【アクセス】

電車 JR根岸線「本郷台」駅から徒歩3分

※駐車場もあります。お車で行かれる方は、HPをチェックして下さい。

※手帳提示で、入館料や駐車場の割引あり。

※月曜休館(祝日除く)です。ご注意ください!



所長の小部屋

以前の話ですが、スーパーで買い物をして並んでいるとレジを打っていたアルバイトの女子高生が私の前に並んでいたお客さんになにやら怒鳴らせていました。内容はよくわかりませんでしたがそのお客さんは延々と文句を言い続け、レジを待つ列も徐々に長くなっていました。女子高生は泣きそうな表情になり、謝り続けていました。「何があったかわからないけどやり過ぎ・・・」と助け舟をだそうと思った矢先、ようやくそのお客さんはまだ、ぶつぶつ言いながら、

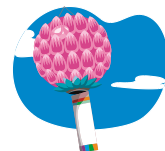


立ち去って行きました。女子高生はそのお客さんに深々と頭を下げた次の瞬間、私に向かって涙を浮かべながら素敵な笑顔で「大変お待たせして申し訳ありません。いらっしやいませ」と言ったのでした。私は何とも言えぬ感動をおぼえ、思わず「ありがとうございます！だいじょうぶだよ！がんばって！」とわけのわからない声をかけました。女子高生はびつくりした表情になりこちらを向き、再び笑顔に戻り「ありがとうございます。またお越しくださいませ」と答えました。

恥ずかしながらその時ちよつと心が折れかかっていた私は、どんな状況下でも「心を込めて」ベストを尽くすことの大切さを改めてこの女子高生から学び、「私も負けない様にがんばろう」と思ったのでした。

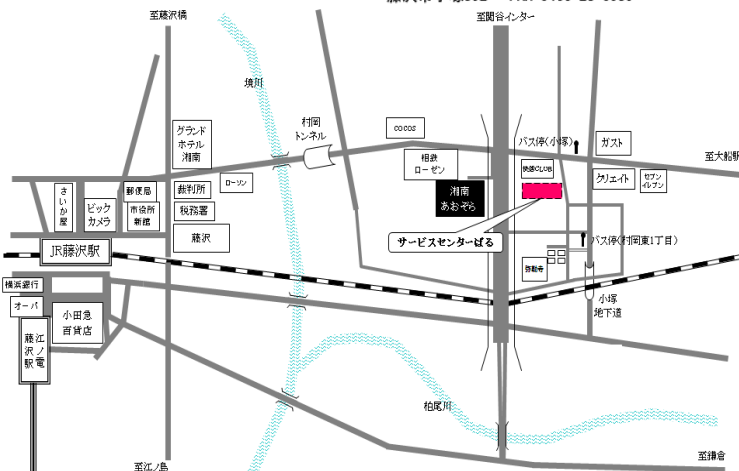
☆食器の寄付☆ありがとうございました！

サービスセンターぱるを利用されているかたのご家族より、グループホームへ食器をいただきました。写真は一部ですが、色々な大きさ、様々な絵柄が入った食器です。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



《サービスセンターぱる》

〒251-0013 TEL:0466-28-0909
 藤沢市小塚592 FAX:0466-28-0959



【バスをご利用の場合】

＜行きかた1＞
 藤沢駅北口より11番乗り場『大船駅行き』または『四季の杜行き』
 『小塚』停留所から徒歩2分になります。

＜行きかた2＞
 藤沢駅南口小田急百貨店前8番乗り場『渡内中央行き』もしくは『湘南鎌倉総合病院行き』（教養センター行きは×）に乗り、『村岡東1丁目』停留所から徒歩3分になります。

【徒歩で来所される場合】
 藤沢駅北口より徒歩18分